

# かものういんだより

2018年6月号

発行：静岡県賀茂農林事務所  
所在地：〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1  
電話番号：0558-24-2074 FAX番号：0558-24-2163  
ホームページ：http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-710/



## 三輪 照光 賀茂農林事務所長から一言

賀茂地域は、自然が豊かで、風光明媚な箇所が多いことから、平成30年4月18日（水）に世界ジオパークにも認定され、ジオサイトが数多く存在しています。



このような自然条件であるが故に、農地の多くは傾斜地・小規模・分散しており、生産効率が低くならざるを得ないことから、農業従事者の高齢化が進み、担い手の確保が大きな課題となっています。

このため、農業分野においては、伊豆縦貫道の建設発生土を活用した生産基盤の整備や担い手への農地の集約化等を進め、生産性を向上させる取組を重点的に進めます。

また、林業分野においては、充実した森林資源を有効に活用するため、引き続き森林施業地の集約化と森林作業道等の路網整備を進め、生産性の向上を図り、森林所有者の森林経営への参画を促します。

今後も地域の方々の声を聞き、これを施策に反映させ、賀茂地域が元気になるよう取り組んでまいります。

担当：総務課（0558-24-2075）

## 治山パトロールを行っています。

6月1日（金）から15日（金）まで、集中豪雨や台風等に起因する山地災害等から、住民の生命・財産を守るため、「治山パトロール」を実施しています。

今年度は、約40箇所の治山施設の点検と、周囲の森林を調査するとともに、地域の方から異常出水の有無等の聞き取り調査を行っています。また、点検結果は、今後の施設整備に役立てます。



施設の異常や荒れた沢等の危険が感じられる場所がありましたら、お住まいの市役所・町役場や賀茂農林事務所治山課までご連絡ください。

担当：治山課（0558-24-2084）

## 「世界ジオパーク」紀行 「弓ヶ浜（南伊豆町）」

弓ヶ浜は、青野川から海に流されてきた砂粒が海流によって南西から北東にのびる帯状にたまって形成された「砂嘴（さし）」と呼ばれる地形です。

また、弓ヶ浜は「日本の渚百選」に選ばれるほどの美しい海岸で、周辺に宿泊施設も充実しています。南伊豆町を訪れた際は、弓ヶ浜で穏やかな潮騒に耳を傾けてみてはいかがでしょうか？



## 野生鳥獣の無許可捕獲・無登録飼養は違法です！

鳥獣保護管理法では、原則として、野生鳥獣の捕獲を禁止しており、野生の鳥獣を捕まえることができるのは、特別な許可を得た捕獲や狩猟期間中における狩猟免許者による狩猟等に限られています。

さらに、密猟や密輸等違法に入手した野生鳥獣の飼育や販売はたとえ無償であっても認められていません。

賀茂農林事務所では、野鳥の繁殖期である5月から7月の間に、毎年、取締りパトロールを実施しています。

違法な捕獲や飼育等は、懲役又は罰金の対象となる場合がありますのでご注意ください。

担当：森林整備課（0558-24-2082）

## 石部の棚田で田植え祭が開催されました。

5月12日（土）、13日（日）に松崎町石部の棚田で田植え祭が開催され、棚田オーナーやボランティア等のべ約600名が参加しました。12日には赤飯、13日にはおにぎり弁当が振る舞われ、参加者は、田植え後の棚田を眺めながら、おいしそうに食べていました。今後は8月に草刈り、9月に収穫祭を予定しています。



田植えの様子

担当：農村整備課（0558-24-2080）

## 農薬危害防止運動実施中！！

6～8月は、農薬の使用が増える時期になります。農薬を適正に使用することにより、安全・安心な農産物の生産、農薬使用者及び周辺住民の安全、そして周辺環境の保全を確保していきましょう。

- 有効期限の切れた農薬、無登録農薬を使用しない。
- ラベルをよく確認し、記載事項を守る。
- 農薬は安全な場所に施錠して適切に保管管理する。
- 散布に使用した器具・容器等は十分に洗浄を行う。
- 農薬使用を帳簿に記帳する。
- 体調を整え、防護装備を着用して使用する。
- 周辺の作物及び環境に影響を与えないよう、十分注意して農薬を使用する。
- 不要になった農薬や器具・容器を洗浄した水等は適切に処分する。

担当：地域振興課（0558-24-2079）

## お知らせ・イベント

### ◆ 平成 30 年度 経営改革講座受講生募集

「新しい農業に挑戦したい！」「儲かる経営について学びたい！」「新たな担い手を受け入れる仕組みを考えたい！」そんな農業者を対象に、宮口巧マーケティングアドバイザーの指導の下、新たな取組に向けた考え方を学ぶ講座を開催します。

- 【開催時期】7月11日（水）から11月22日（木）
- 【講座回数】全7回
- 【受講費用】無料
- 【募集人数】先着5経営体
- 【申込み先】企画経営課（0558-24-2076）

回	開講時期	内 容
1	7月11日（水）	農業を巡る環境と6次産業化の現状
2	8月1日（水）	現状分析と商品開発の事業戦略
3	9月20日（木）	経営分析と目標設定
4	10月17日（水）	現地個別指導
5	10月18日（木）	現地個別指導 事業計画案の発表と検討
6	11月7日（水）	個別事業計画作成・発表準備
7	11月22日（木）	成果発表会

※講座開催時期及び内容は、変更する可能性があります

### 【連載企画】 賀茂のグリーン ツーリズム体験

「アロエ石けんづくり体験  
（南伊豆町 南伊豆アロエ  
センター）」



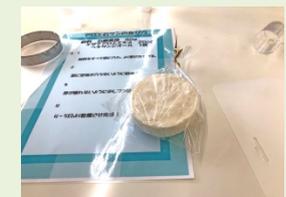
今回は、南伊豆町大瀬にある「南伊豆アロエセンター」で南伊豆産「キダチアロエ」のエキスを使用した石けんづくり体験をさせていただきました。

日本のアロエ生葉生産量の70%以上が、伊豆半島で栽培されており、南伊豆町はアロエの生産地として有名です。南伊豆アロエセンターでは、温暖な気候で育てたキダチアロエを化粧品等の様々な商品に加工し、販売しています。



アロエ石けんづくり体験は、石けん素地にキダチアロエエキスと防腐剤を入れよく混ぜ合わせた後、型に入れ空気を抜きながら形を整え、型から整えた石けんを取り出せば当日の行程は終了です。あとは、自宅に持ち帰り4～5日間乾燥させれば完成となります。

シンプルでわかりやすく危険もない行程ですので、お子様連れの方でも安心してアロエ石けんづくり体験が出来ます。



南伊豆アロエセンターは、アロエ石けんづくり体験以外にも、アロエソフトクリームやアロエを使用した化粧品等、様々なアロエ関連商品や地場商品の販売、1万株の植栽されたアロエの見学等が出来ます。11月下旬～2月下旬になるとアロエの赤い花が咲き入園無料で見学することができ、観光におすすめの施設です。

南伊豆町を訪れた際は、南伊豆アロエセンターで多種多様なアロエ、アロエ関連商品を楽しんでみてはいかがでしょうか？

### WELLかも！ 「桜葉餅と桜葉」

松崎町の特産である桜葉を使用した桜葉餅は、1つの餅を2枚の桜葉で包んであります。芳香成分の多い「オオシマザクラ」を使用しているため、食べると桜の芳醇な香りが広がります。

